

2026

03

第16号



福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

# にじいろ通信

暦の上では春となりましたが、季節外れの大雪や感染症があるためまだまだ軽装での外出とはいかない難しい季節です。気温の変化にはご注意ください。

## FMUキャリアサポート交流会を開催しました

1月27日、本学 I & H 光が丘薬局館内会議室にて、福島県医師会と共催による「FMUキャリアサポート交流会」を開催いたしました。

講師として本学 保健科学部 診療放射線科学科 長谷川 功紀教授と郡山市のよりみち家庭医療クリニック 遠藤 芽依院長をお迎えし、若手研究者や学生、さらにはキャリアを考える全ての教職員を対象とした交流会となりました。

長谷川先生からは「医・歯・薬・理・工・保健 連携 流転のキャリアの先にあるもの」と題し、タイトル通りたくさんの研究室をご経験されたご自身のキャリアと、人それぞれある強みを活かすためのキャリアの積み方についてアドバイスをいただきました。

遠藤先生からは「医師夫婦 12年間の会話」と題し、学生での結婚出産を経て医師夫婦となった後に互いのキャリアをどう積んでいくかのすり合わせや、地域に根付いたクリニックを開業するに至った経緯をお話いただきました。

コーヒーや軽食も用意されたフランクな雰囲気の中で、フランクに講師と話せる時間もあり、参加者は思い思いに講師との会話や質問をしながら交流を深めていました。



長谷川功紀教授



遠藤 芽依院長



交流会の様子

### FMU 看護学部カフェ

1月29日に開催された看護学部カフェは、「ワールドカフェ」形式にて行われました。ワールドカフェ形式とは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中、少人数ごとにテーブルにある模造紙にテーマにおいて他者からの意見による気づきを得たものを書き出すスタイルのカフェです。「ダイバーシティ」をテーマとした今回のカフェでは、多様性を認めあうことの大切さが実感できました。



### 医学部女性研究者カフェ

2月12日に開催された「医学部女性研究者カフェ」では、本学 医学部 子ども・女性医療支援センターの小川 真里子教授をお招きし、「わたしたちの妊活：5W1H～イマドキの妊活事情を知ろう～」というご演題でお話いただきました。参加者は学生も多く、自身のキャリアと結婚・出産のタイミングを改めて計画的に考えることができる、良い機会となりました。



## 成果報告会

本学の「研究支援員制度」を利用した教員が、その成果を報告する「成果報告会」が、3月4日に開催されました。報告では、制度の利用によりライフイベントと研究活動の両立が図れたこと、臨床業務のため滞っていた研究が進展したこと、論文の完成につながったこと、さらには支援員に指示を行う過程で自身の研究を改めて見つめ直す機会となったことなど、さまざまな成果が紹介されました。また、本制度をどのように活用するかについて具体的な事例が共有され、次回の制度利用者や将来的に利用を検討している教員にとっても参考となる会となりました。

ライフイベントを控えている教員や、今後のキャリア形成の中で支援制度の活用を考えている教員にとって、本制度を利用することで研究を継続・発展させることができるという



実感を得られる機会となり、研究者と研究支援員双方のモチベーション向上にもつながりました。

## FMUカフェ in 会津医療センター

2月26日、会津医療センターにてカフェが開催されました。今年度は会津医療センター 総合内科学講座 鎌田 一宏教授より「Outstanding Career Design」を題材に海外でのご経験やキャリアアップに関するお話をいただき、当時の先生の考え、思いが参加者に伝わり、心が温まるカフェとなりました。

参加者からは、「キャリアは偶然からということが身にしみました」「自分の根底にあるものを探したいと思いました」「自分の知らない世界の話が聞けて、興味深く、勉強になる話を聞けて良かったです」という感想が寄せられました。



## ダイバーシティアンケート 集計結果が公表されました

ダイバーシティ推進室ウェブサイトにおいて、例年行っております学内でのダイバーシティアンケートの集計結果を公開いたしました。当アンケートは、今回で12回目となりました。開始当初はダイバーシティにおける事業計画反映や研究への利用、実態の把握をすることを目的としたアンケートでしたが、今後は現場の負担軽減と多様な働き方を支える体制づくりを促進するため、関係部署と連携し改善に繋げられるようデータを活用していく予定です。

来年度以降も継続してアンケートを行ってまいりますので、今後もお答えをよろしくお願いいたします。

アンケート結果は右のQRコードから確認いただけます



福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

室長 前島 裕子

E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp/Tel: 024-547-1657(内線: 2807)

ダイバーシティ  
推進室HPへ

